

# Kamiwaza

越前市 ● 国立印刷局 企画展

「職人たちの神技  
すかしの世界」

紙技

令和5年11月22日(水)  
～12月17日(日)

毎週火曜日休館(休祝日の場合開館)

主催/越前市

会場/越前和紙の里 紙の文化博物館

開催場所/〒915-0232 福井県越前市新在家町第11号12番地

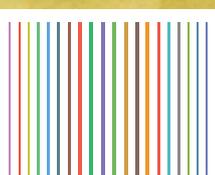
開館時間/午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)

※初日は午後2時からのオープニングセレモニー終了後から、ご観覧いただけます

入館料/一般300円(高校生以下無料) 障がい者手帳等をお持ちの方は150円

団体200円(15人以上)

※卯立の工芸館との共通料金



越前和紙の里

紙の文化博物館

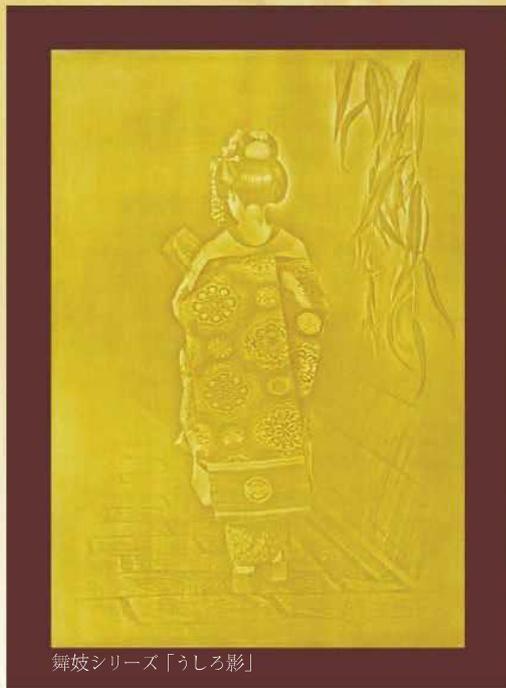
Museum of Washi and Culture

私たちの身近にある「お札」は、令和6年7月にデザインが一新されることが決まっています。私たちの生活に欠かせない「お札」ですが、お札の歴史を見ていくと、越前和紙はお札に深いかわりがあります。お札のデザインが来年新しくなることから、今回、お札のふると越前において、国立印刷局の特別協力のもと企画展を開催します。

お札を製造している国立印刷局は、明治4年に大蔵省紙幣司として設置され、現在では、お札や切手、パスポートなど私たちの生活に欠かせない製品を製造しています。私たちが普段何気なく使用しているお札ですが、その一枚の中には、様々な偽造防止技術と美しいデザインが施されています。

今回、国立印刷局の特別協力のもと、印刷局の専門職人である「工芸官」が製作したすき入れの作品（習作）をご紹介します。これまで作り上げられてきた作品のほか、越前市が誇る越前和紙・越前打刃物・越前筆筒の伝統的工芸品を作る職人をモデルにしたすき入れ作品を初披露します。工芸官による繊細な技が織り込まれた美しいすき入れ作品と共に、お札の歴史や新しいお札のデザインなどをお楽しみください。

絵合わせすかし「尻子玉に気をつける」



舞妓シリーズ「うしろ影」



「大瀧神社・岡太神社」

■ 関連イベント

■ 国立印刷局の現役工芸官によるギャラリートーク

日時	11月23日(木・祝) ① 10:00～12:00 ② 14:00～16:00
参加費	無料(ただし入館料が必要)
事前申込	不要

■ 持てますか?一億円

実物と同じ大きさの一億円  
あなたは持つことができますか?  
実際に一億円の重さを体験できます

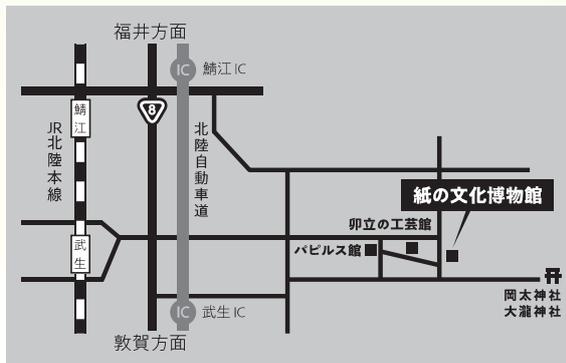


■ 顔だし写真パネル

あなたもお札の肖像になれる!? 現地で記念に写真を一枚

入館料	大人	高校生以下
個人	300円	無料
団体	200円	無料

- ※身体障害者手帳、療育手帳又は精神保健福祉手帳の交付を受けている方は、150円
- ※団体は、15名以上の場合に適用
- ※入館料は、紙の文化博物館・卯立の工芸館と共通



■ 電車

- JR大阪駅～武生駅(特急2時間)
- JR名古屋駅～武生駅(特急2時間)
- JR金沢駅～武生駅(特急1時間)
- JR武生駅下車後 タクシーで20分
- 福鉄バス南越線または池田線で30分  
和紙の里下車 徒歩3分

■ 自動車

- 米原JCT～武生IC  
(北陸自動車道1時間)
- 武生ICより10分



越前和紙の里 紙の文化博物館

〒915-0232 福井県越前市新在家町 11-12 TEL: 0778-42-0016 FAX: 0778-42-3260  
https://www.echizenwashi.jp/museum/

報道関係各位

## 「越前和紙の里 紙の文化博物館」11/22（水）から開催

「KAMIWAZA～職人たちの神技 すかしの世界～」



私たちの身近にある「お札」は、令和6年7月前半を目途にデザインが一新されることが決まっています。私たちの生活に欠かせない「お札」ですが、お札の歴史を見ていくと、越前和紙はお札に深い関わりがあります。

来年、お札のデザインが新しくなることから、今回、お札のふるさと越前において、国立印刷局の特別協力のもと企画展を開催します。工芸官による繊細な技が練り込まれた美しいすき入れ作品とともに、お札の歴史や新しいお札のデザインなどをお楽しみください。

### 【概要】

#### （1）「新しい日本銀行券」（お札）の紹介、「新たに搭載される偽造防止技術」の紹介等【1階ホール】

令和6年7月前半を目途に新しいお札を発行することが発表されました。新しいお札の肖像には、新一万円札に日本の経済近代化の最大の功労者といわれる渋沢栄一先生、新五千円札には、近代的な女子高等教育に尽力された津田梅子先生、新千円札には、日本医学の発展に貢献された北里柴三郎先生が採用され、新たな偽造防止技術の搭載とともに約20年ぶりにデザインが大きく一新されます。

また、お札は、子どもからお年寄り、外国の方や視力の弱い方など、全てのユーザが不便を感じることなく使用できる必要があり、新しいお札のデザインに当たっては、ユニバーサルデザインについての効果的な技術の採用及び設計上の工夫を施しております。

本章では、「新しい日本銀行券」の紹介、新たに搭載する偽造防止技術やユニバーサルデザインについて詳しくご紹介します。

#### （2）お札の歴史と越前のかかわり【2階展示室】

寛文元年（1661年）、かつての福井藩において、福井藩札が発行されました。これが、日本で初めての「藩札」といわれています。福井藩札の紙幣用紙には、越前和紙が採用されたほか、明治維新後の日本で初めての全国通用紙幣「<sup>だじょうかんきつ</sup>太政官札」（通称：金札）に越前和紙が採用されるなど、越前和紙は

日本のお札の歴史をみても、深い関わりがあると言えます。

本章では、越前和紙がお札の歴史の中で果たしてきた役割とともに、お札の歴史について、お札の実物も展示しながらご紹介します。

### 【3】国立印刷局 工芸官の技【2階展示室】

今回、国立印刷局の協力のもと、国立印刷局の専門職人である「工芸官」が製作したすき入れの作品（習作）をご紹介します。本章では、これまで作り上げられてきた作品のほか、越前市が誇る越前和紙・越前打刃物・越前筆筒の伝統的工芸品を作る職人をモデルにしたすき入れ作品を初披露します。

#### 取材のポイント

これまであまり外部に出ることのなかった国立印刷局のすき入れ作品の取材ができます。国立印刷局の工芸官\*が、実際に見学者へ向けてその知識や知見の一端を説明しながら解説します（11/22-23）。

\*工芸官の顔の撮影には一部制限がかかります。

\*展示品の取材及び撮影は禁止とさせていただきます。

#### 【取材対応】

□11月22日（水）オープニングセレモニーへエントリーされるメディアは、事前レク（資料配布あり）を行いますので、あらかじめご承知おき願います。

□申込先：越前市役所 伝統工芸振興課（TEL 0778-42-5289）

□事前レク

日時：11月22日（水）13:40～

場所：越前和紙の里 紙の文化博物館 別館

\*13:40までに事前レク場所へお越しください。

#### 【開催詳細】

□主催／越前市

□特別協力／独立行政法人 国立印刷局

□会場／越前和紙の里 紙の文化博物館

□場所／〒915-0232 福井県越前市新在家町11号12番地

□日時／2023年11月22日（水）～12月17日（日）

午前9：00～午後5：00（入館は午後4：30まで）

※初日は午後2時からのオープニングセレモニー終了後からご覧いただけます。

□入場料／一般300円（高校生以下無料） 障がい者手帳等をお持ちの方は150円

団体200円（15人以上）

※卯立の工芸館との共通料金

□内容／「持てますか？1億円」 実際に一億円を持ち、重さを体験できます！

「顔出しパネル」 あなたもお札の肖像になれます！



## 【イベント】

(1)令和5年11月22日（水）

※オープニングセレモニー

14:00～14:30 オープニングセレモニー、すき入れ作品の贈呈式 ←撮影可

14:30～15:30 内覧会（来賓者、メディア） ←撮影可

(2)令和5年11月23日（木・祝）

※現役工芸官によるギャラリートーク（工芸官自ら作品をご説明します）

10:00～12:00、14:00～16:00

□アクセス：

### 【電車】

J R 大阪駅～武生駅（特急2時間）

J R 名古屋駅～武生駅（特急2時間）

J R 金沢駅～武生駅（特急1時間）

・ J R 武生駅下車 タクシーで20分

・ 福鉄バス南越線又は池田線で30分 和紙の里下車 徒歩3分

### 【自動車】

米原JCT～武生 I C（北陸自動車道1時間） 武生 I Cから10分

〈本件に関するお問い合わせ先〉

越前市役所 伝統工芸振興課

（取材のお問い合わせはこちらにお願いいたします）

TEL：0778-42-5289／E-mail：kougei@city.echizen.lg.jp

〈工芸官に関するお問い合わせ先〉

国立印刷局広報官室

Tel.03-3587-4211／E-mail：proffice@npb.go.jp